

中丹の教育

はぐくみ通信

京都府中丹教育局
第110号
令和3年11月1日
中丹教育局



検索

みんなでコラボ in 中丹

中丹地区PTA指導者研修会&中丹地区いじめ・非行防止フォーラム

本年度の「みんなでコラボ in 中丹」では、子どもたちをすこやかにはぐくむためのヒントが多く示唆されていました。その一部を御紹介いたします。

子どもたちの
意欲を引き出す

自己肯定感

その土台
となる

包み込まれている という感覚

を子どもたちが
感じられるには…

動画①「よりよい親子関係を築くコミュニケーション ~子どもとの望ましい関わり方について~」より

子どもたちが生活していく中では、がまんすることも必要です。
自分の心や体をコントロールする力を身に付けるためには、「自分を
知ること(自己認知)」が大切です。
子どもは多くの人と関わり、「豊かにコミュニケーションをとる」ことで、強みや弱みなど、「自分」への理解を深めていきます。

双方向のコミュニケーションをとることが信頼関係を築く礎となります。

「〇〇しなさい。」「ちゃんと聞いていた？」といった声かけは、一方的な指示や注意、要求になっており、望ましいコミュニケーションとは言えません。



子どもががんばるためには、そういう気持ちになれる要因を増やすことが大切です。
しかし、「がんばれ！」という励ましは不快感情を生み出してしまいます。
だから、子どもが我慢した・がんばったときには、「まず褒める」といいですね。励ましたあとはまた「褒める」ことで、快の感情が生まれ、子どもがまたがんばろう！という気持ちになります。

快く 豊かな コミュニケーション

動画②いじめ撲滅・非行防止アピール&アクションより



誰にも言えない
つらい気持ちを
和らげたい…
という思いが薬物
乱用につながる
ことがあるようです。
家庭でできる薬物乱用防止対策としては、正しい知識を習得すること、子どもたちと対話できる関係づくりを進めることなどがあります。
「家族全員で食事をとる」、「子どもに敬意を持って向き合う」、「子どもをコントロールしようとしなさい」、「子どものよいところを積極的に見つけて伝える」などを意識し、対話することが大切です。学校でも同じようなことに気を付けたいですね。

「みんなでコラボ in 中丹」では、すべての子どもが「包み込まれているという感覚」を実感できるように取り組むべきことを提案しています。

いじめ撲滅・非行防止 アピール&アクション

家庭では…

「いじめや非行から我が子を守る。」
という強い決意のもと、子どもの思いをしっかりと受け止めます。

学校・園では…

一人一人の子どもが大切にされる、
いじめや非行を絶対に許さない学校・園をつくります。

※「いじめ撲滅・非行防止アピール&アクション」の全文・詳細は中丹教育局ホームページをご覧ください。

子どもたちがよりよい社会と 幸福な人生の創り手となれるよう

保護者も地域も先生も…

みんなでコラボ!!